

令和7年度

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（I-B型）

仕様書

熊本県
山鹿市消防本部

目 次

第1章 総則

1	目的	1
2	規格	1

第2章 仕様

1	シャシ	2
2	主要諸元	3
3	主ポンプ	4
4	主ポンプ動力伝達装置	4
5	真空ポンプ	4
6	ポンプ不凍液装置	5
7	冷却装置	5
8	配管及び各コック	5
9	揚水装置	5
10	計器	6
11	水槽	6
12	車体の構造	6
13	電装関係	8
14	車載無線機等	9
15	塗装及び記入文字	9
16	取付け品及び附属品	9
	別表	9

第1章 総 則

1 目的

本仕様書は、山鹿市消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入する災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（以下「本車両」という。）の艤装、性能及びこれらに関する一切の仕様について定めるものとする。

2 規格

- (1) 本車両は、消防車自動車専用シャシにアルミ製高圧2段バランスタービンポンプ及び水槽（1,500リットル以上）を搭載するとともに、必要機材を装備し、河川や、消火栓等の水利から強力な放水をなし、一般火災に対し速やかに活動できるものとし、ボデーはP P材等にて軽量化・耐腐食性を図ること。
- (2) 艤装業者は、本仕様書を十分満足するほか、艤装業者の公表した標準仕様により艤装すること。
- (3) 製作にあたっては、本仕様書に基づくほか、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）及び緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成18年消防消第49号）関連規定に適合し、日本消防検定協会の受託試験に合格しなければならない。
- (4) 本車両は、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。
- (5) 本車両は、品質保持並びに環境配慮と、消防用車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足し、製造工場については「品質管理システムISO9001」「環境管理システムISO14001」を構築していること。なお、「ISO9001」は製造工場、営業所又は支店が取得していること。
- (6) 受注者は、製作工程表に基づき、次の検査を受けるものとする。
 - ア 艤装中間検査（塗装前艤装検査）
 - イ 完成検査（納入検収時）
- (7) 製作に先立ち受注者は、契約後速やかに当本部担当者と詳細な打ち合わせを行い、次の書類を提出し、製作の承認を受けるものとする。

ア 製作工程表	3部（又は必要数）
イ 製作図（艤装5面図・配管図・電気配線図）	3部（ 〃 ）
ウ 「ISO9001」・「ISO14001」登録証の写し	3部（ 〃 ）
エ その他、当本部が指示する書類	必要数
- (8) 完成車の納入時に、次のものを提出すること。

ア 完成図面	3部（又は必要数）
イ ポンプ性能試験結果	3部（ 〃 ）
ウ 受託試験合格証の写し	3部（ 〃 ）
エ 取扱説明書（ポンプ／シャシ）	各3部（ 〃 ）
オ 工程写真（製作中工程及び試験実施工程）	3部（ 〃 ）
カ 打合せによる議事録及び艤装中間検査議事録	3部（ 〃 ）
キ その他、当本部が指示する書類	必要数
- (9) 受注者は、製作に当たり本仕様書の記載事項に疑義が生じた場合には、当本部担当者に連絡の上承認又

は指示を受けるものとする。

(10) 中間検査の実施及び中間検査代用写真の撮影は、赤塗装前の組み上げた状態で実施し、中間検査については議事録を作成すること。

(11) 納入

ア 納入場所 山鹿市消防本部 山鹿消防署東分署 (山鹿市鹿本町津袋1254番地4)

イ 納入期限 令和8年3月31日 自然災害の影響による物流遅延等、受注者の責めに帰さない事由により納期までに納品できない場合は、発注者に早急に連絡して協議を行うこと。

ウ 納入台数 1台(装備品、積載品等を含む。)

(12) 保証期間は納入後1年間とする。ただし、保証期間後であっても設計、工作あるいは材質の不良に起因するものについては、無償で新品と取替え又は修理を行うこと。

(13) 契約締結から納入までの諸経費は受注者が負担するものとする。ただし、本車両の新規登録に係る重量税、自動車損害賠償責任保険、リサイクル費用は発注者が負担する。

(14) 受注者は、「消防用車両の安全基準について」に基づき、安全操作技能講習及び点検整備講習について、東分署職員に対して無償で2回技術指導を行うこと。

(15) デジタル無線機(以下「無線機」という。)、車両動態管理装置(以下「AVM」という。)の移設は日本電気株式会社が行い、移設に関わるすべての費用は、受注者負担とする。

(16) 更新の対象となる現車両(熊本800は1115)については、公売とするため次のとおりとする。

ア 受注者は速やかに一時抹消登録手続きを行い、一時抹消登録手続きが完了した旨を証明する一次抹消登録証明書を当本部に提出すること。

イ 現車両に取付けている赤色灯、サイレン等は取り外し、当本部の名称表示及び対空文字は完全に消去すること。

ウ 重量税の還付手続きを含めること。自動車損害賠償責任保険についても解約を行うため、自動車損害賠償責任保険証明書は当本部に返還すること。

エ その他、当本部消防総務課と協議すること。

(17) その他について次のとおりとする。

ア 本仕様書に記載のない事項については、当本部担当者と協議のうえ決定し、受注者が議事録を作成すること。

イ 本仕様書に記載のない事項で、メーカーの公表した仕様及び艤装については、当然これを施すこと。

ウ 型式等(附属品・部品含む。)に変更が生じた場合(製造中止を含む。)は、当本部の承認を得て同等以上の性能、整備を満たす新型の型式とすることができる。

エ 納車時は、燃料を満載すること。

第2章 仕様

1 シャシ

シャシは、令和7年度に自動車メーカーが消防自動車専用シャシとして公表した標準取付品が装備されていること。なお、モデルチェンジを行うシャシについては、この限りではなく、機能を有することができない場合は別途協議とする。

2 主要諸元

- | | |
|--|--|
| (1) 型式 | 消防自動車専用シャシ (ダブルキャブ型) |
| (2) 全長 | 7, 000ミリメートル程度 |
| (3) 全幅 | 2, 350ミリメートル程度 |
| (4) 全高 | 3, 000ミリメートル程度 |
| (5) ホイルベース | 3, 790ミリメートル程度 |
| (6) 総重量 | 11. 00トン未満 |
| (7) 最大積載量 | 2, 500キログラム
(水: 1, 500リットル以上 消防資機材: 1, 000キログラム) |
| (8) アプローチアングル | 25度程度 |
| (9) デパーチャアングル | 14度程度 |
| (10) 変速機 | マニュアルトランスミッション |
| (11) 駆動方式 | 四輪駆動 |
| (12) 乗員定員 | 6名 (前部2名、後部4名) |
| (13) エンジン形式 | ディーゼルエンジン |
| (14) 総排気量 | 5, 100シーシー以上 |
| (15) タイヤ | オールシーズンラジアルタイヤ |
| (16) バッテリー | 12V-100AH以上2個 (容易に点検、取外しができること。)
AVM及び無線機等に必要な容量を十分に確保できるもの。 |
| (17) オルタネーター | 24V-100AH以上
積載資機材及び無線機等使用時に必要な容量を十分に備えるものとする。 |
| (18) 空調 | シャシ純正エアコンディショナー |
| (19) キャブチルド | 電動油圧式 (支持棒付一式) |
| (20) 保温装置 | オイルパンヒーター (過充電防止付バッテリー充電装置付、コード10メートル付属) 切替え用のスイッチを差し込みプラグ付近に設置すること。 |
| (21) 制動補助 | ABS装置 |
| (22) ステアリング | パワーステアリング |
| (23) 集中ドアロック装置 | |
| (24) エアバック装置 (運転席のみ) | |
| (25) LED式ヘッドライト及びフォグランプ | |
| (26) サンバイザー (運転席・助手席) | |
| (27) 電動格納式リモコンミラー (助手席用ミラー付) | |
| (28) カーナビゲーション一式 (全国版地図付) ※TVチューナーレス仕様 | |
| (29) バックアイモニタ | |
| (30) ドライブレコーダー (記録媒体カード付) | |
| (31) パワーウィンドウ | |
| (32) 右左折・後退音声警報器 (運転席に解除スイッチを設けること) | |

- (33) ナンバープレートグリル (前後)
- (34) LED式タイヤ灯 (左右)
- (35) 座席シート 飛鳥車体製 超防汚シートカバー付(赤/黒/赤)
- (36) フロアマット (全席)
- (37) スペアタイヤ (ホイール付)
- (38) 自動車標準工具
- (39) タイヤチェーン ワイヤー式
- (40) 非常信号灯一式
- (41) 停止表示板一式
- (42) 車両用消火器 (位置は協議する。)
- (43) 車輪止 2組 硬質ゴム製
- (44) 運転席及び隊員席はシャシ固有のものとする。
- (45) 前席後部に後席用の手摺パイプを設ける。
- (46) 特記事項以外はメーカー純正品とする。

3 主ポンプ

- (1) 主ポンプはアルミ製2段バランスタービンポンプ又は1段ボリュートポンプとし、動力消防ポンプの技術上の規格に定めるA-2級以上の性能とし、次の放水性能を有すること。
 - ア 規格放水性能0.85メガパスカルにおいて2.0立方メートル毎分以上
 - イ 高圧放水性能1.40メガパスカルにおいて1.4立方メートル毎分以上
- (2) 主ポンプ (インペラー及びポンプケース) の材質は軽量かつ環境リサイクル率の高いアルミ製又は真鍮製とし、ポンプ内は防錆・防食特殊コーティングを施すこと。
- (3) 主ポンプグラント部はメカニカルシールとし、グリス及びグラントパッキンを使用しない構造とすること。なお、主ポンプメタル部もグリス補充を一切不要なメンテナンスフリー型とすること。また、メカニカルシール内には、主ポンプの空運転に対応するための冷却機構を設けること。

4 主ポンプ動力伝達装置

主ポンプの動力伝達装置は、シャシのトランスミッション後方にポンプ駆動用ギアケースを設置し、エンジンの動力を有効にポンプに駆動するもので、操作は運転席のPTOスイッチにより容易に作動できるものとする。

5 真空ポンプ

- (1) 真空ポンプは無給油式真空ポンプ又は四翼偏心ロータリーベーン式とし、耐久性の向上を図るため、ブレードはピーク材を使用すること。また、真空ポンプ内に大量の水が流入しても、支障のない構造とすること。
- (2) 環境に十分配慮し、オイルやグリス等の充填を一切必要としない完全無給油式とすること。
- (3) 真空漏れの原因につながる呼水回路の気水分離装置、エアーチャンバー及びオイルタンク等を一切設けないこと。
- (4) 真空ポンプの性能は附属吸水管を連結した状態で、30秒以内に水銀柱640ミリメートルエイチジー以上の真空性能を有すること。

- (5) 定格回転速度で30分間、最高負荷状態で回転させた場合でも、機能及び性能に支障が生じない構造とし、第三者機関による検査に合格していること。
- (6) 操作は押ボタン式スイッチによるものとし、駆動装置は円滑に作動し揚水完了後は自動的に停止すること。なお、非常用の別系統スイッチを右側に設けるものとする。
- (7) 破損防止のため自動揚水時エンジン回転が一定回転以上では作動しない構造とすること。

6 ポンプ不凍液装置

- (1) カプラー式不凍液装置を右側ポンプ操作部付近に設けること。(ゴムホース付属品付)
- (2) 不凍液を中央吸水管部より吸入させ、主ポンプ等主要部の凍結を防止する構造とすること。

7 冷却装置

- (1) 操作バルブ(確認カップ付)を車体右側ポンプ操作部付近に設けること。
- (2) メイン・サブの2系統を設けること。

8 配管及び各コック

- (1) 吸水口(ストレーナ付)
 - ア 75ミリメートル以上のボールコック(ストレーナ付)を車両左右各1個設けること。
 - イ エゼクター装置(確認カップ付)を設けること。
- (2) 吐水口(放水口)
 - ア 65ミリメートルボールコック付吐水口をポンプ室両側に各2口、計4口設けること。
 - イ 65ミリメートル及び50ミリメートルの町野式ホースが接続できる媒介を取付けること。
- (3) 中継口(ストレーナ付)
 - 65ミリメートルボールコック付中継口をポンプ室両側に各1口、計2口設けること。

9 揚水装置

- (1) 揚水装置の「操作パネル」は、7インチ高輝度液晶カラーモニターとし、各ボールコックの開閉状態の表示、揚水確認表示等、水ポンプの運転に必要な情報と取扱い説明等を表示できる機能を有していること。
なお、液晶モニターはバックライト付とし、明るさの調整が可能であること。
- (2) 各操作スイッチは長年の使用でも故障・誤作動のない押ボタン式とし、操作パネル内に設けること。
- (3) 次の機能を有すること。(特記項目以外は製造メーカー標準機能による。)
 - ア 放水反動力表示機能
 - イ 水位により表示色が変化する「水量計」表示機能
 - ウ 水槽吸水コックの「開/閉」表示機能
 - エ 吸管巻取装置吸水コック「開/閉」表示機能
- (4) 次の安全装置機能を有すること。(特記項目以外は製造メーカー標準機能による。)
 - ア 放水開始後、放水圧力を幅広い設定範囲で自動制御する「自動調圧設定機能」を有すること。
(設定範囲: 0.2~1.5メガパスカル)
 - イ 設定圧力を超えると設定圧力以下になる様に、エンジン回転をコントロールする「上限圧力設定機能」を有すること。
 - ウ 揚水タイムオーバー、吸水圧力異常、低圧中継警報、高圧中継警報等、各状態に合わせてブザー又は液晶画面内表示で警告する機能を有すること。

エ 流量により表示色が変化する機能を持たせ、使用流量の把握を簡単にできること。

10 計器

- (1) 圧力計・連成計は、ブレを抑える耐振型計器とすること。また、LED式バックライト付とすること。
- (2) シャン固有のエンジン回転計並びにエンジン油温計を取付けること。

11 水槽

- (1) 水槽の容量は1, 500リットル以上とすること。
- (2) 水槽の使用材料は環境を考慮し再生が可能なことと、永年使用を考慮し、腐食防止及び軽量化を図ったPP製とし、十分な強度と耐久性を有したものとすること。
- (3) 水槽は振動、衝撃等により損傷、緩みが生じないように車台に確実に固定し、また水圧に対し、変形及び水漏れ等が発生しない構造とすること。
- (4) 水槽内部には防波板を設け、走行安定性を確保すること。なお、防波板の取付けはメンテナンス性を考慮すること。
- (5) 水槽からポンプに送水するための水槽吸水コック（緩衝用ジョイント付）を設けること。なお、開閉は左右連動とすること。
- (6) ポンプから水槽へ自己補給するための水槽送水コック（緩衝用ジョイント付）を設けること。なお、開閉は左右連動とすること。
- (7) 車体左右に水槽補給口（町野メス×ネジメス媒介／ストレーナ付）を設けること。なお、媒介には覆冠（鎖付）を取付けること。水槽補給圧は0. 35メガパスカルまでの耐圧構造とすること。
- (8) 水槽にはオーバーフローパイプを設けること。
- (9) 水槽上部にはマンホール、下部には水槽ドレインバルブをそれぞれ取付け、車両側面で開閉が出来るように施すこと。
- (10) 水槽上部はアルミ縞板張りとすること。
- (11) 水量計は両側ポンプ操作部付近及び液晶モニター内に取付けること。

12 車体の構造

- (1) 車体は堅牢かつ十分な耐久性を有し、あらゆる走行条件に対して安全かつ安定性を保つものであること。
- (2) 使用材料は補助対象規格に定めるもの、又はこれと同等以上の強度及び耐久性を有するPP製を努めて使用し、可能な限り車両の軽量化を図ること。
- (3) 車体の形状は箱型とし、左右各3面、後部1面のシャッターボックスで構成し、車体前方から「ポンプ室×左右各1」、中部左右は「ホース収納スペース×左右各1」、後部左右は「資機材収納庫×左右各1」「車体後部ホースカー収納庫×1」の配置形状とすること。なお、使用するシャッターはアルミ製バーシャッター式（鍵付）とし、操作性、防水性に優れたものとすること。
- (4) キャブ右側下部に小物資機材収納ボックス（樹脂製すのこ板付）を設け、左側下部にバッテリー収納ボックス（レール引き出し式）を設けること。安全機能としてすべて2重ロックを設けること。
- (5) ポンプ室は車体前方左右シャッターボックス内に設けること。なお、ポンプ室側板は密閉型としボールコック等の点検及び手入れが容易な構造であること。後方側に自動吸管巻き取り装置（横引き出し型）を取付けること。なお、吸水コックの開閉は左右連動式とし、回転式コックとすること。また、車体上部にポンプ点検口を出来るだけ大きく確保すること。

- (6) ポンプ室下部左右に、扉はステップ型（下開き）とする安全機能としてすべて2重ロックを設けること。
また、ポンプ室右側ポンプ操作部付近に、消火栓開閉器具を設置すること。（位置は協議する。）
- (7) 水槽左右に消防ホース収納棚2段以上（ホースバック、2重巻きホース）とし、資機材等が飛び出さない構造で収納できるようにすること。シャッターボックスを設けること。（樹脂製すのこ板付）
- (8) 車体側面後方左右に資機材収納用シャッターボックスを設け、下段は即消ボックスとする。右側は展開式又は引き出し式収納庫として、発電機、投光器、コードリール、ロープ、ボルトクリッパー、消火栓立管等が積載出来ること。（構造及び収納物の位置は協議する。）左側は収納棚2段以上とし、泡消火薬剤、B火災用資機材等が積載できること。なお、資機材が飛び出さない構造で収納できること。（樹脂製すのこ板付）
- (9) リヤフェンダーはステップ兼用型（展開式）とし、内側は縞鋼板張りとする事。
- (10) アシスト機能付ホースカーは車体後部シャッターボックス内に収納し、分岐管、管そう及び中継用媒介金具の取付け位置は別途協議する。ホースカーの昇降は電動油圧式（幅広デッキ）とし、安全かつスムーズに操作ができること。なお、トラブル発生時にデッキの昇降が可能なハンドポンプ及び手動下降バルブを装備すること。
操作スイッチは後面右側に保護枠付で取付けること。車体後部内には、背負器具2個及び空気呼吸器用予備ボンベ収納枠、スコップ、金てこ、ハンマー等を取付けること。
- (11) 車体上部は縞鋼板張りとし、安全面を考慮しフラットに仕上げる事。また、周囲には機材落下防止用のあおりを設け、左右にフックを取付けること。また、アルミ縞鋼板の収納ボックスを1個取付けること。（大きさ及び位置については協議する。）なお、水槽内部点検用に水槽マンホール上部の縞鋼板は開閉可能な扉構造とする事。伸縮柱式LEDサーチライトを2箇所設置すること。（位置は別途協議する。）
- (12) 車体上部昇降用ステップを必要数取付け、滑り止め加工すること。
- (13) 牽引フックはフロントバンパー及びホースカー収納室前方部（扉付）に取付けること。
- (14) ナンバープレートはフロントバンパー及びホースカー室上部に取付けること。
- (15) 棒吸管(3本)は、車体上部右側に取付けること。
- (16) 車体上部昇降用はしご（折り畳み式）は車体後部右側に取付けること。3連はしごは、車体上部左側に取付けることとし、地上からスムーズに昇降可能なダンパーによるシーソー式とする。
- (17) とび口はキャブとポンプ操作部との間に4本（左右2本ずつ）両側より取り出せるように取付けること。（位置は協議する。）
- (18) 吸管スパナは左右吸水口付近に取付けること。
- (19) 消防章マークは車両前面に取付けること。
- (20) 泥除けは全輪に取付けること。
- (21) 車輪止めを、両サイドステップ付近に1組ずつ取付けること。（位置は協議する。）
- (22) 左右キャブ昇降ステップはシャシ純正とし、滑り止め加工すること。
- (23) 燃料タンクはシャシ固有のものとし、ポンプ室付近に取付けること。
- (24) シャシ固有のコンビネーションランプを車体後部左右に埋め込み式で取付けること。
- (25) シャシ固有の後退警報器を車体後部右側に埋め込み式で取付けること。
- (26) フロント部の消防章上部とキャブ屋根部の各2箇所に、取手を取付けること。

- (27) 車両の両側部にホースブリッジ収納枠を取付けること。（位置は協議する。）
- (28) キャブ内前部座席天井及び後部座席天井に、大型LED室内灯を1箇所ずつ（2箇所）設けること。
- (29) キャブ内天井の前方、中央、後方に収納棚を設けること。また、器材の落下防止を講じること。（位置及び構造は協議する。）
- (30) 助手席及び後部座席両サイドにLEDフレキシブルマップランプを設けること。（位置は協議する。）
- (31) 前席の中央部付近にセンターコンソールボックスを設けること。
- (32) センターコンソールボックス前部の床に小物収納箱を設けること。
- (33) 助手席シート内に、空気呼吸器1基を固定できる空気呼吸器埋め込み型シートを設けること。
- (34) 後部座席は、前向き4人掛けとし、乗降時及び走行時において安全確保に必要な握り棒手摺、ステップ及び安全帯を設けること。なお、手摺は運転席及び助手席シートがリクライニングできるように折り畳み式を取付けること。
- (35) 後部座席の前部握り棒はステンレス製とし同質のS字フックを取付けること。（位置は協議する。）
- (36) 後部座席後方に、空気呼吸器3基を固定できる固定器具を設けること。また、その下に座席背もたれ後部には空気ボンベ2本以上収納できる収納ボックスを設けること。（位置及び構造は協議する。）後部窓には保護枠を設け、面体掛けフックを3箇所以上取付けること。
- (37) 後部座席シートは2つに区分し、折り畳みができる構造とする。その下部に資機材収納ボックスを設け、上部及び側面から取り出しができること。さらに、その収納ボックス両側にロック式扉を設けること。
- (38) 後部座席の中央部にボックス（A3版地図など入れ）を取付けること。
- (39) 空気呼吸器安全保護固定装置の上部に収納ボックスを設け、資機材の落下防止を講じること。また、収納ボックス付近に防火衣が掛けられるフックを5箇所設けること。（位置は協議する。）
- (40) キャブ乗り込み時、塗装部に接触する箇所にはアルミ板で保護板を取付けること。

1.3 電装関係

- (1) 赤色警光灯は上部前面に取付けること。
- (2) 電子サイレンアンプは、前席の容易に操作できる位置に機能的に取付けること。なお、スピーカーは赤色警光灯に内蔵すること。
- (3) 標識灯は赤色警光灯組込式に取付けること。
- (4) 計器灯は左右計器板上方に取付けること。
- (5) ポンプ・機関室内に照明灯を取付けること。
- (6) 路肩灯は左右リアタイヤ前方に、保護棒付で取付けること。なお、スイッチはシャシスモールランプと連動すること。
- (7) 側面方向指示灯（保護棒付）は左右ポンプ室前方付近に取付けること。なお、ウinkerと連動すること。
- (8) 各ボックス内にはボックス内灯（LED灯）を必要数取付けること。
- (9) 各スイッチはトグル式とし、前席の容易に操作できる位置に機能的に取付けること。
- (10) 各装置のヒューズ及びリレーはセンターコンソールボックスに取付けること。なお、ヒューズボックスには名称と負荷を明示すること。

(11) キャブーフ部の配線は、露出しない方法とし、防水処置を施すこと。

1 4 車載無線機等

(1) 無線機及びAVM本体は、現行車両から移設すること。

(2) キャブ内に取付ける無線機本体、AVM及び車外無線機切換スイッチは運転席及び助手席どちらからでも容易に操作及び視認できる位置に機能的に取付けること。

(3) キャブ内に送受信器セット及びスピーカーを操作しやすい位置に機能的に取付けること。

(4) ポンプ室左右シャッターボックス付近に車外無線ボックスを設け、送受信器、スピーカー及び切換スイッチを取付けること。

(5) キャブ上部に無線機アンテナを取付けること。

(6) 配線は可能な限り隠蔽し、キャビン貫通部は雨水等の浸水を防止する構造とすること。

(7) 詳細については、当本部と協議すること。

1 5 塗装及び記入文字

(1) 外観塗装は完全な防錆加工を施し、赤色塗料にて吹き付け塗装を3回以上上塗りし、十分乾燥させること。

(2) 車体下廻り等は黒色塗装とすること。

(3) 各シャッターは赤色塗装とすること。

(4) 各ボックス内はメタリックホワイートシルバーとする。

(5) 手摺・保護枠・計器類の金具は、ステンレス製又は良質のクロームメッキ処理とする。

(6) 記入文字は当本部が指定する次の箇所に文字・マーク等をカッティングシート又は塗装で記入すること。

ア ドア 「山鹿市消防本部（上段）山鹿消防署 東分署（下段）」

イ 標識灯 「東分署」

ウ その他 対空文字、シャッターのイラストや文字等は別途打合せとする。

1 6 取付け品及び附属品

(1) 取付け品及び附属品等は、別表のとおりとする。

(2) 取付け品及び附属品は、J I S規格及び関係法令規格に合格したものであること。

別表

1 取付け品及び取付け装置

No.	品名	内容	数量
1	ポンプ圧力計	T N V P耐振型圧力計 (N I T-101) (LEDバックライト付)	2式
2	ポンプ連成計	T N V C耐振型連成計 (N I T-91) (LEDバックライト付)	2式
3	エンジン回転計	シャシ純正	1式
4	エンジン油温計	シャシ純正	1式
5	赤色警光灯	大阪サイレンNP-L L-VK2M-C2	1式
6	電子サイレン (拡声装置付)	大阪サイレンTSK-D152 (MCD1L専用マイク付) 後部座席電子サイレン用マイク増設 (1個) 音声オプション 別途打合せ	1式
7	ポンプ計器灯 照明灯	ポンプ操作部照明灯 LED シャッター内及びボックス内照明灯LED	必要数
8	後退警報器	音声アラーム付	1式
9	標識灯	赤色警光灯内組込	1式

2 軽微な変更として備えることができる取付け品及び取付け装置

No.	品名	内容	数量
1	G P Sナビゲーションシステム	後方確認用バックカメラ付	1式
2	電動サイレン	大阪サイレン5SA型 キャブ内の助手席、後部座席、運転席付近に手押しスイッチを付けること	1式
3	真空計	連成計リタード式	2式
4	ポンプ回転計	左右液晶ディスプレイ内表示	2式
5	流量計	左右液晶ディスプレイ内 各放口用表示	2式
6	積算流量計	左右液晶ディスプレイ内表示	1式
7	キャブチルト装置	電動油圧式	1式
8	オイルパンヒーター	シャシ純正 コード10メートル付 過充電防止付バッテリー充電装置付 マグネットコンセント (蓋付)	1式
9	不凍液注入装置	右側ポンプ操作部付近	1式
10	作業灯	ポンプ操作部照明灯LED シャッター内及びボックス内照明灯LED	必要数
11	車外無線送話機取出口	埋め込みボックス付	2式
12	ドライブレコーダー	フロントカメラ、リアカメラ、モニター付 フルHD200万画素以上、水平画角110度以上、記録媒体カード付属 (128GB以上)	1式
13	外部電源出力用差込口	AC100V 2個口 キャブ内コンソールボックス 1個 車両外部 (防塵防雨カバー付) 1個	2個
14	反射材	再帰性に富んだ反射材	1式

3 備えなければならない附属品

No.	品名	内容	数量
1	吸管	φ75×10メートル (LF-RS) アルミエキスパン金具×1	1本
2	棒吸管 (ジョイント式)	φ75×3.3メートル 2本 (オーサカゴム WS-RS) φ75×3.4メートル 1本 (オーサカゴム WS-RS)	1式
3	吸口ストレーナー	φ75 プラスチック製	2個
4	吸管ストレーナー	φ75 プラスチック製	2個
5	吸管ちりよけかご	φ75 プラスチック製	2個
6	吸管まくら木	φ75用 ゴム製	2個
7	吸管ロープ	φ10×15メートル クレモナ	2本
8	消火栓金具	呼称75メスネジ×φ65差込メス AC製	2個
9	中継用媒介金具	呼称65メスネジ×φ65差込メス AC製	2個
10	消火栓開閉金具	消火栓大箱廻し・消火栓鍵	1式
11	吸管スパナ	φ75用	2本
12	管そう (安全管そう)	呼称65用×1 呼称50用×1	2本
13	ノズル	ストレートノズル φ20,26 (AC製) ×各1 噴霧Jノズル (NV-65W・II) φ20 (AC製) ×2	4個
14	放口媒介金具	呼称65 MCスイーベル 65-50×2 呼称65 MC吐水媒介 65-50×2	4個
15	とび口	長さ1.8メートル×2本 グラスファイバー製滑り止め付 長さ0.9メートル×2本 グラスファイバー製滑り止め付	4本
16	金てこ	D11金てこ 1200×22×35	1本
17	剣先スコップ		1本
18	ホース延長用資機材	アシスト機能付電動ホースカー 取付け金具付 (管そう×2、分岐金具×1、 中継用媒介金具×1) 充電セット一式	1式
19	はしご	関東梯子株式会社3連梯子 チタン製 KHA-8 7 (掛金確認安全装置付)	1脚
20	車輪止	ゴム製 中型 黒色	2組
21	消火器	自動車用ABC粉末20型	1個
22	ポンプ工具	消防車ポンプ工具 (工具入れ含む)	1式
23	ホース	呼称65 (年式及び消防本部名入) NEWプロファイターA ルミライトセーフ加工	30本

4 軽微な変更として備えることができる附属品

No.	品名	内容	数量
1	タイヤチェーン	シャシ固有	1式
2	分岐管	マルチ WB-65MC	2個
3	ホースブリッジ	CB450	2式
4	ワイヤ	5メートル×12ミリメートル (シャックル付)	2式

5	照明器具	コードリール (ハタヤリミテッドAF-301K) × 1 発電機 : ヤマハEF900iS × 1 充電式投光器 : マキタML008G (40V仕様) × 2 三脚 : A-69129 × 1 パワーソースキットXGT8 : バッテリー × 2、充電器、ケース付 予備バッテリー : BL4040 / 4.0Ah × 2	1式
6	ホース背負器 ホースカバー付 (ホース収納棚用 防水製)	アルミ製軽量ホース背負器 (3本以上収納) キャスター付きで手引き搬送も可能	2式
7	斧	千吉 グラスファイバー柄 アックス 700mm	1個
8	ハリガン	750ハリガン (レザーヘッド)	1個
9	ハンマー	両口大ハンマー グラスファイバー製	1個
10	ホースカバー	ホース収納棚用 防水製	1式
11	スタンドパイプ	単口引上げ式スタンドパイプ YONE PS-65・800	1本
12	特殊ノズル	ダブルコンブーストノズル 1本 ボアテックスノズル 1本	2本
13	特殊ノズル用ホース	呼称50 (年式及び消防本部名入) NEWプロファイターA ルミライトセーフ加工	10本

5 規格外艀装取付け及び附属品

No.	品名	内容	数量
1	前部赤色点滅灯	LFR2 専用プロテクター付	2式
2	後部警光・照明灯	LFLIA-300 専用プロテクター付	2式
3	側部警光・照明灯	LFLIA-300 専用プロテクター付	左右各2式
4	はしご昇降装置	手動引出シーソー式ラダーリフト同等可	1式
5	牽引用フック		必要数
6	外部スピーカー	無線用 左右のポンプ操作部に設置	各1式
7	後輪照明灯	LED	必要数
8	泥除けゴム		4枚
9	サイドバイザー		4枚
10	キャブ内足ラバーマット	運転席、助手席、後部席	各1式
11	予備ヒューズ		1式
12	S字フック	大型ステンレス製 (キャビン手摺用・パンチングパネル用 各10個)	20個
13	バッテリー管理機		1式
14	補修用塗料	スプレー式又はタッチペン式 朱色	2式
15	吸管媒介金具	呼称75メスネジ×呼称65差込メス	2個
16	吸口エルボ	スィーベルエルボー (スーパースイング) 同等可	2個
17	ストレーナーポリかご	ストかご (フック付ロープ、塵除け袋付)	2個
18	中継口ストレーナー		2個
19	シャットオフボールバルブ	YONE BO-50	1個
20	中継用媒介金具	呼称65差込メス×呼称65差込メス	各2個

		呼称6.5差込オス×呼称6.5差込オス	
2.1	差込式異径媒介	呼称4.0差込メス×呼称5.0差込オス 呼称5.0差込メス×呼称4.0差込オス 呼称6.5差込メス×呼称4.0差込オス 呼称6.5差込メス×呼称5.0差込オス	各1個
2.2	吸管巻取装置	手動横引き出し型	1式
2.3	空気呼吸器取付け金具	ウォーカーウェーブレット 助手席×1、後部座席×3	4式
2.4	空気呼吸器	ドレーゲル社製 PSS Air-Boss (カバーグラス、アイピースカバー付) 8Lカーボン製空気ボンベ 保護カバー付	4基 4本
2.5	予備ボンベ	8Lカーボン製空気ボンベ 保護カバー付	12本
2.6	レスキューコール	Drager Bodyguard 1000	4個
2.7	拡声器	レイニーメガホンタフ TS-633R サイレン、ウエストホルダー付	1式
2.8	ホースバッグ	ホースキャリーバッグ 同等可 FS2型	2組
2.9	携帯用サーチライト	ストリームライト116Rデュアリー3AAレー ザー 赤色レーザー付きIEC防爆認証LEDラ イト	4式
3.0	万能斧	レスキューアックスSD-01	1個
3.1	防水シート	AFE-33-0085	2枚
3.2	カラーコーン	ジャバラコーン (伸縮式) PCK-70RS	4個
3.3	距離測定計	ウォーキングメジャー STS DWS-160W	1個
3.4	レーザー距離測定計	屋外対応モデル 測定距離100m以上 防塵防水対応 1個 収納ケース 1個	1式
3.5	現場見取図画板	ジュラルミンケース	2個
3.6	北川式ガス検知採取器セット	AP-20型セット 1式 チップカッター 1個 火災鑑識用検知管 (石油290PⅡ) 1箱 収納ケース 1個	1式
3.7	鑑識用標識版セット	KS-H10 1式 収納ケース 1個	1式
3.8	カラビナ	ペツル オーバル型 (スクリューロック)	10個
3.9	漏水止め応急バンド	ホースの破れた個所に巻く (反射テープ付)	4個
4.0	デジタルカメラセット	リコーPENTAX WG-90 記録媒体カード 128GB以上 収納ケース1個 予備バッテリー1個	1式
4.1	停止表示板		1個
4.2	救出用縛帯セット	ヘリタックホットシート 1個 ペツル オーバル型 (トライアクトロック) 2枚 収納バック 1個	1式
4.3	ボルトクリッパー	ZBC-600A 絶縁性	1本
4.4	熱画像直視装置	フリーア K2 セット1式 (充電器、ネクストラップ、USBケーブル等 のセット1式) 収納ハードケース 1個	1式
4.5	10連スイッチ	大阪サイレン SBW-D1	1式
4.6	アクセサリコード	ニューイングランド 径3ミリメートル×	1本

		100メートル	
47	マルチガス測定器	G X - 3 R オプション(ポンプユニット・浮子式ガス採集器)	1式
48	火災救助資機材	KM-3 スタティックロープ 10.5mm 100m 2本 収納バッグ(100m用) 2個 ペツル オーバル型(トライアクトロック) 4個 ペツル スピンL1 4個 ペツル スリングテープ アノー 60, 80, 120センチメートル 各4本 プルージックコード7mm 1本	1式
49	耐熱ロープ	スターリン リット レスポンスロープ 径9ミリメートル×30メートル	2本
50	風速計	B S - W T 8 1 6 A	1個
51	火災現場撮影用カメラ	F I R E C A M B Jマウントセット 予備バッテリー、microSD(16GB)、マウント、 防水キャップ、予備リング、ケーブル 予備microSD(16GB)×1	1式
52	パンチングパネル	キャビン後部座席後方空気呼吸器取付け横	1式
53	無線機用ベスト	アラミドラジオハーネス	5着
54	フック式 マンホールキー		1式
55	B火災対応資機材	L X フォームジェット 1個 M X フォームジェット 1個 B火災対応薬剤 5缶	1式
56	林野火災対策用品	バルファーストV F	2個
57	マグネットシート	緊急消防援助隊用 別途打合せ	1式
58	熱中症対策資機材	充電式保冷温庫 マキタC W 0 0 4 G Z	1個
59	訓練旗立て	キャブ左側 止めネジ付	1式